

福島2号機

格納容器内530℃推計

足場に穴、核燃料で溶融か

東京電力は二日、福島第一原発2号機の原子炉格納容器の内部調査で撮影した画像を解析した結果、調査

時点の内部の空間放射線量は推定で最大毎時五三〇 Becquerel だったと明らかにした。第一原発事故での最大値。原子炉直下にある鉄製の作業用足場に穴(約一辺四方)が開いていることも判明。メルトダウン(炉心溶融)で溶け落ちた核燃料(デブリ)の熱でできたとみられる。足場には、デブリの可能性のある堆積物が広範囲に付着しているのが見つかっている。――関連②面

線量は数十秒の被ばくで人が死亡するレベルで、事故が起きた原子炉内の過酷な状況が明らかになるとともに、廃炉作業でのデブリ取り出しの困難さが改めて浮き彫りになった。撮影日は、線量を推計した画像が一月二十六日、穴が判明した画像は同三十日。二月中旬までに実施予定のカメラ

付きの自走式ロボットによる本格調査は相当な困難が伴う可能性がある。東電によると、五三〇 Becquerel と推定されるのは、格納容器の壁に開いた貫通部分から圧力容器の真下に向かって設置されている機材搬入用レールの途中で、圧力容器を支える土台から約二・

三メートル離れた空間部分。これまでの最大の実測値は2号機内部の毎時約七三〇 Becquerel だった。格納容器内の線量は、高い放射線がカメラに影響を与えることで画像に生じるノイズを解析して推定。上下30%の誤差があるという。格子状の足場の穴は、

三、四メートル離れた空間部分。これまでの最大の実測値は2号機内部の毎時約七三〇 Becquerel だった。格納容器内の線量は、高い放射線がカメラに影響を与えることで画像に生じるノイズを解析して推定。上下30%の誤差があるという。格子状の足場の穴は、

三、四メートル離れた空間部分。これまでの最大の実測値は2号機内部の毎時約七三〇 Becquerel だった。格納容器内の線量は、高い放射線がカメラに影響を与えることで画像に生じるノイズを解析して推定。上下30%の誤差があるという。格子状の足場の穴は、

三、四メートル離れた空間部分。これまでの最大の実測値は2号機内部の毎時約七三〇 Becquerel だった。格納容器内の線量は、高い放射線がカメラに影響を与えることで画像に生じるノイズを解析して推定。上下30%の誤差があるという。格子状の足場の穴は、

三、四メートル離れた空間部分。これまでの最大の実測値は2号機内部の毎時約七三〇 Becquerel だった。格納容器内の線量は、高い放射線がカメラに影響を与えることで画像に生じるノイズを解析して推定。上下30%の誤差があるという。格子状の足場の穴は、

三、四メートル離れた空間部分。これまでの最大の実測値は2号機内部の毎時約七三〇 Becquerel だった。格納容器内の線量は、高い放射線がカメラに影響を与えることで画像に生じるノイズを解析して推定。上下30%の誤差があるという。格子状の足場の穴は、

福島第一原発事故の燃料溶融 東京電力福島第一原発事故では、日本大震災で全交流電源を喪失し、運転中だった1、2、3号機で炉心溶融(メルトダウン)が起きた。原子炉内の核燃料は運転を停止し

ても熱を出し続けるため、冷却できなくなれば、2千、3千度に達して溶ける。2号機は溶けた燃料の一部が、1、3号機は燃料の大部分が原子炉圧力容器の底部を突き抜けて格納容器に落ちたとみられている。

2/3 福島

画像を鮮明化する処理で見つかり、変形して陥没していた。圧力容器の真下にある支柱にも堆積物が付着しており、圧力容器から支柱を伝ってデブリが流れ落ち、足場を溶かした可能性がある。東電は、足場の穴や堆積物について「カメラ付き自走式ロボットを格納容器内に入れる調査で、線量などを調べて総合的に判断したい」と説明。調査は二月中旬までに実施予定だが、穴が原子炉直下のスペースの入り口付近にあるため、ロボットの走行経路の見直しが必要となる。

画像を鮮明化する処理で見つかり、変形して陥没していた。圧力容器の真下にある支柱にも堆積物が付着しており、圧力容器から支柱を伝ってデブリが流れ落ち、足場を溶かした可能性がある。東電は、足場の穴や堆積物について「カメラ付き自走式ロボットを格納容器内に入れる調査で、線量などを調べて総合的に判断したい」と説明。調査は二月中旬までに実施予定だが、穴が原子炉直下のスペースの入り口付近にあるため、ロボットの走行経路の見直しが必要となる。

画像を鮮明化する処理で見つかり、変形して陥没していた。圧力容器の真下にある支柱にも堆積物が付着しており、圧力容器から支柱を伝ってデブリが流れ落ち、足場を溶かした可能性がある。東電は、足場の穴や堆積物について「カメラ付き自走式ロボットを格納容器内に入れる調査で、線量などを調べて総合的に判断したい」と説明。調査は二月中旬までに実施予定だが、穴が原子炉直下のスペースの入り口付近にあるため、ロボットの走行経路の見直しが必要となる。

画像を鮮明化する処理で見つかり、変形して陥没していた。圧力容器の真下にある支柱にも堆積物が付着しており、圧力容器から支柱を伝ってデブリが流れ落ち、足場を溶かした可能性がある。東電は、足場の穴や堆積物について「カメラ付き自走式ロボットを格納容器内に入れる調査で、線量などを調べて総合的に判断したい」と説明。調査は二月中旬までに実施予定だが、穴が原子炉直下のスペースの入り口付近にあるため、ロボットの走行経路の見直しが必要となる。

画像を鮮明化する処理で見つかり、変形して陥没していた。圧力容器の真下にある支柱にも堆積物が付着しており、圧力容器から支柱を伝ってデブリが流れ落ち、足場を溶かした可能性がある。東電は、足場の穴や堆積物について「カメラ付き自走式ロボットを格納容器内に入れる調査で、線量などを調べて総合的に判断したい」と説明。調査は二月中旬までに実施予定だが、穴が原子炉直下のスペースの入り口付近にあるため、ロボットの走行経路の見直しが必要となる。